

# 戦時下の学生と読書

早稲田大学図書館学生図書閲覧成績調査 一九三九—一九四四年

関連図書のご案内

表示価格はすべて税込

**姉妹編**  
早稲田大学学生読書調査報告書  
戦時期

- ◎体裁 B5判・上製本・総336頁
- ◎解説・翻刻 藤原秀之（早稲田大学教育学部非常勤講師）
- ◎推薦 和田敦彦（早稲田大学教育学部教授）
- ◎原本提供 早稲田大学図書館
- ◎刊行 2023年12月

◎価格 定価 16,500円（本体価格15,000円+税10%）  
ISBN 978-4-8350-8598-2

法律	
鈴木一郎	刑事判例研究（四部大冊）
高木一郎	日本刑法（四部大冊）
中村萬吉	日本債權法各論（四部大冊）
小野清一郎	民法概論（三部）
成妻榮	民法講義（總則・物權）（三部）
中村萬吉	中村萬吉著民法通論（四部大冊）
宮本英	刑法大綱（四部大冊）

商業	
谷口吉彦	光太郎
荒木光太郎	新
岩崎松義	イシラーレー・ジョンの貿易論助研究
生島廣治郎	貿易統計
上坂酉三	貿易統計の研究
小林行昌	戦後日本の物價問題（二部三冊）
吉田政治	貿易統計の研究
木村増太郎	戦後日本の物價問題（二部三冊）

何を読むべきか・読書・知識・生きた新聞  
全7巻  
復刻版

●解説||和田敦彦  
●推薦||新藤雄介  
●定価22,000円（本体価格20,000円+税10%）

文部省思想統制関係資料集成  
編集復刻版  
全11巻

一九三二年一月にプロレタリア科学研究所にて発行・編輯、白揚社から発売された書評誌を復刻。プロレタリア科学運動の立場から、文学誌上におけるブルジョア迎合的な文学論やファシズム文献を批判し、プロレタリア諸運動にまつわる文献を労働者や農民大衆に伝えることを目的とした。継続後誌三誌も復刻。  
●解説||新藤雄介  
●推薦||有山輝雄  
●定価15,400円（本体価格14,000円+税10%）

A4判・上製・総4,620頁・4面付方式  
定価302,500円（本体価格275,000円+税10%）

不出版

TEL 東京都文京区水道2-10-10  
FAX 03-5981-6704  
振替 00160-2-94084

# 戦時下の学生と読書

早稲田大学図書館学生図書閲覧成績調査 一九三九—一九四四年

昭和十四年十一月

学生図書閲覧成績調査

早稲田大学図書館

学生図書閲覧成績調査

昭和十九年五月

早稲田大学図書館

◎価格

定価 16,500円（本体価格15,000円+税10%）

ISBN 978-4-8350-8598-2

◎刊行

2023年12月

◎原本提供

早稲田大学図書館

◎推薦

和田敦彦（早稲田大学教育学部教授）

◎解説・翻刻

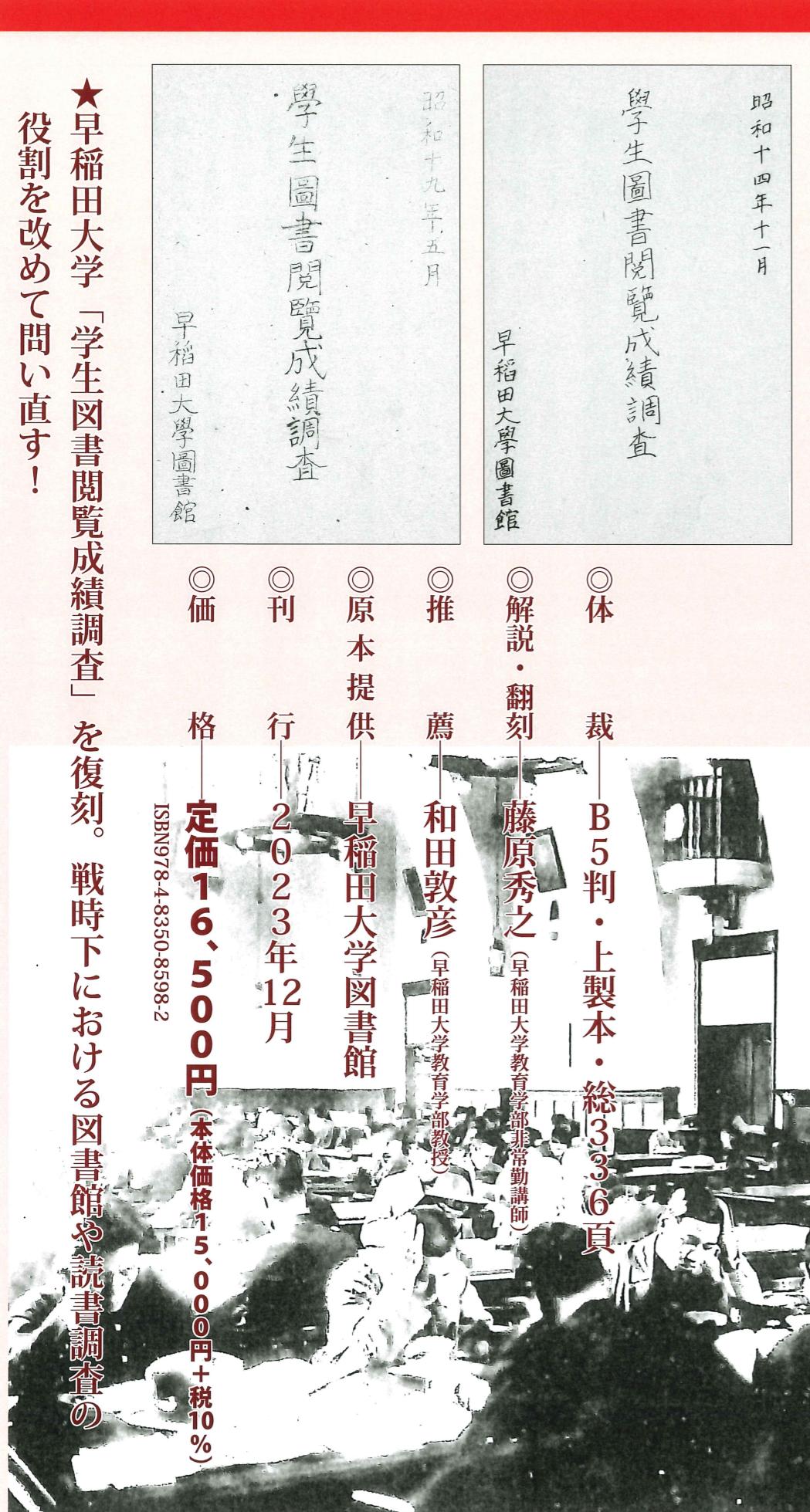
藤原秀之（早稲田大学教育学部非常勤講師）

◎体裁

B5判・上製本・総336頁

★早稲田大学「学生図書閲覧成績調査」を復刻。戦時下における図書館や読書調査の役割を改めて問い合わせます！

不二出版



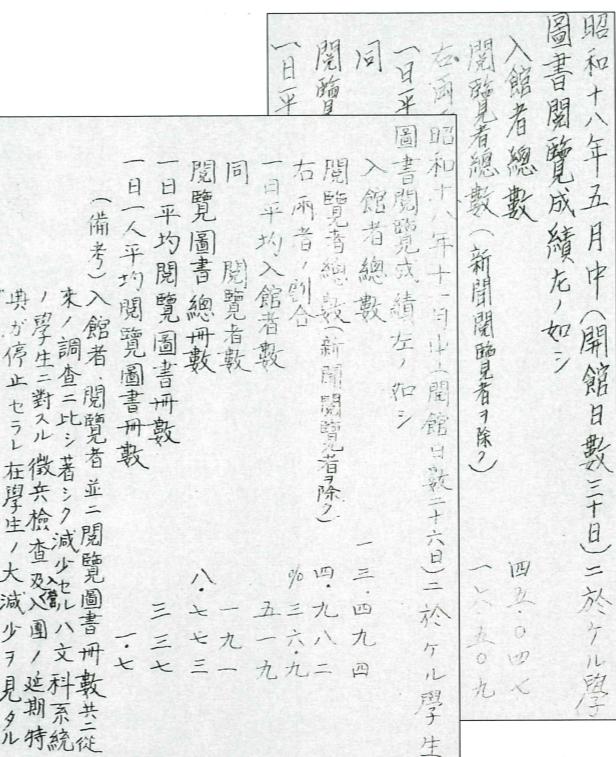
▲早稲田大学図書館内閲覧室（昭和初期絵葉書より）

藤原秀之

推薦の言葉

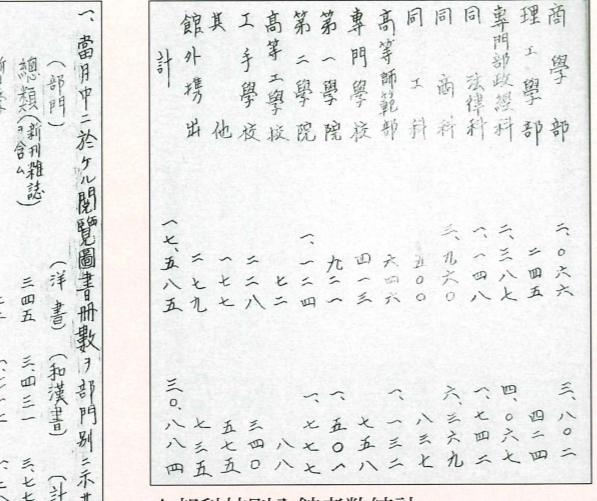
人々がどのような図書を読んでいたか、それを知るためのいわゆる「読書調査」は、戦前の日本においてもたびたびおこなわれていた。とりわけ学生たち、若者のそれについては、各機関がおこなった生活調査などの中からも知ることができる。ただ、その具体的な内容に関する詳細な研究は今日までそれほど多くない。

現存が確認された一九三九年十一月から一九四四年五月まで、計十回分の調査結果について紹介するものである。調査内容を見ると、毎年五月、十一月の年二回、その月の図書館入館者数、閲覧図書冊数、さらには具体的な書名と閲覧請求回数などが詳細にまとめられており、その中にはいわゆる「学徒出陣」がはじまつた一九四三年とその前後の資料を含んでいる。図書館の利用状況という統計的な数値と実際に学生たちが手に取った図書について知ることは、一大学の実情だけでなく、当時の若者たちの実態を知る上でも重要な情報となると考え、ここにその全容を翻刻と写真図版（復刻）として刊行することとした。



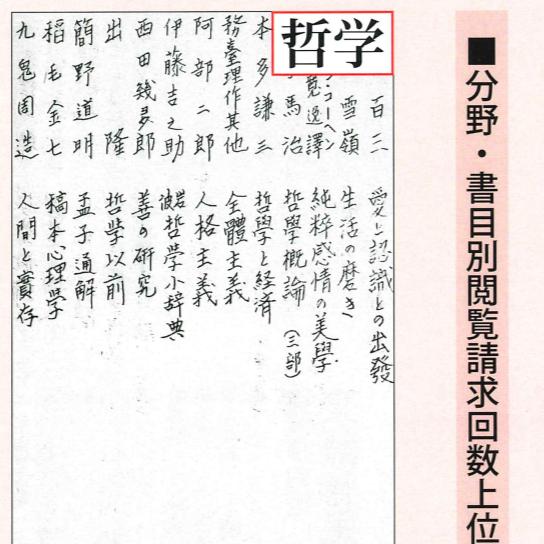
▲1943年5月と11月の入館者総数統計。10月に徵兵猶予が停止されたことにより、入館者が激減している。

內容見本

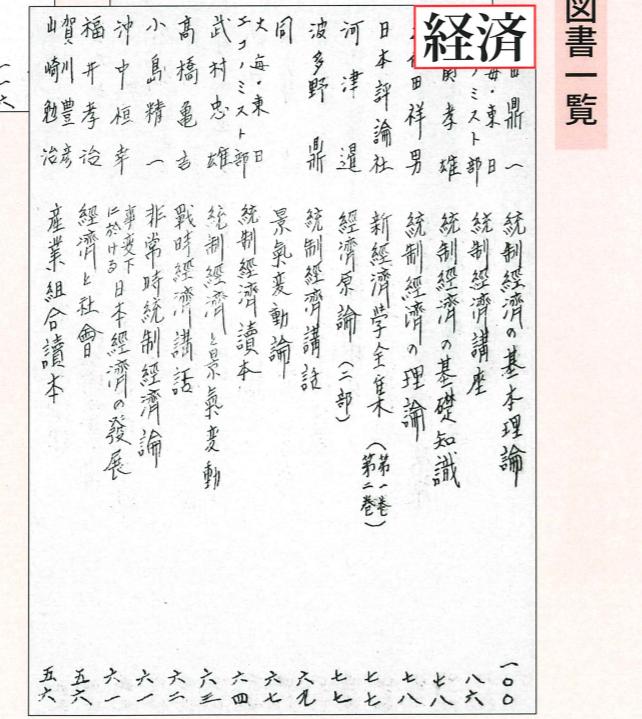


### ▲部科校別入館者数統計。

◆右：部門別閲覧図書冊数統計。  
左：雑誌閲覧請求回数統計。



■ 分野・書目別閲覧請求回数上位図書一覧



清水進	酒井寅吉	大本營海軍報道部編
マレー戦記	海軍戰記	ロモン海戰從軍記
兵隊の地圖	化學兵器	國家總力戰
地熱	國	軍艦の形態
航空戰の技術	軍艦	軍艦
= = = = =	= = = = =	= = = = =
四〇	三〇	四八

▲分野・書目別閲覧請求成績より  
「兵事」。(1943年5月) 従軍記  
や軍事技術関連書籍は別途「兵  
事」として項目立てされた。

図書館の閲覧成績、すなわち図書、雑誌の貸出実績は、戦前から公私の図書館で積極的に発信されていた。こうした閲覧ランキングの資料やデータは、当時何が読まれていたのかを知る重要な手がかりとなることは言うまでもない。特に本資料の場合、各分野ごとに詳細なタイトルのランキングがうかがえる点に特徴がある。戦前の図書館のこうした閲覧データは、多くの場合は利用者数や閲覧数などの数値のみか、詳しい場合でもせいぜい閲覧請求が多い図書の単純な書名のランキングであり、これほど詳細なデータではない。そして、調査の規模がある程度大きく、かつ複数の年次にわたって共通の方法で調べられている点も、このデータの優れた点である。

また、本資料が重要なのは、戦時中にもかかわらずこうした詳細な読書調査記録が残されているということに加え、戦時中「だからこそ」こうした調査がなされている点でもある。戦時下における図書館や読書調査の役割を改めて問い直すうえでも貴重な手がかりになる資料である。戦局の変化や大学、学生を取り巻く環境の変化の中で、文学から思想、あるいは各学術領域において読まれていた図書、雑誌やその変化を具体的に追うことができる。多様な研究領域、機関での活用ができる資料として推薦したい。